

連載 96

くにごの県庁見聞録

委員会運営

(司会) 今、100日県議会真最中です。

(くにご) そうなんでは？

(くにご) はい、本会議で各派代表質問、一般質問が終了して、常任委員会での審議が始まった所です。

(司会) 地域でも9月・10月はお祭シーズンで、土日すよ、休めないし。

(くにご) 勿論です。だから怪我だけはないように、慎重に行動しています。

(司会) そうですよ。

(くにご) 今期の常任委員会では審議する課題が多いので、質問状況を見て、委員会開催日を増やす必要があるのではないかと考えているんです。

(司会) そうですよね。

(くにご) そういう所に委員長の醍醐味があるんですね。

(司会) そうです。

(くにご) という事を学んでいる最中なんです。県民の皆さんにとって重要な課題を十分に審議する事が私

たち議員の役目ですから、できるだけ質疑の時間をとる必要があります。今定例議会には、国を真似た事業仕分けをして、県民功労賞や青少年指導員や看護師さんたちへの表彰事業を見直す案や、企業に対する超過課税の延長、補正予算案が提案されています。地域で活躍する方への表彰事業をなぜ見直すのか？県内企業に超過課税の理解は頂いているのか？などじっくり審議する必要があるんです。

(司会) しっかりお願いしますね、くにごさん。

小川くにご事務所
044・865・1313
044・888・3600
http://www.kinet.or.jp/seseragi/



くにごのプロフィール

- 久本在住、夫・小川栄一
- 都立小石川高校卒
- 早稲田大学第一文学部英米文学科卒
- 元横浜YMCA予備校英語科講師
- 高津親睦ソフトボールリーグ顧問
- 高津区ゲートボール協会副会長
- NPO法人理事(在宅介護支援施設)